



埼玉県自衛隊退職者の雇用企業 入間基地部隊研修

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 竹内 浩之）は、令和7年6月12日（木）、入間基地において、企業人事担当者らを対象にした研修を実施した。これらは援護広報の一環として行ったもので、参加者は現場の雰囲気を感じながら、自衛官の職務内容や人材としての魅力について理解を深めた。

最初に訪れた修武台記念館では、日本の空を守り続ける航空機の歴史と隊員たちの歩みを通して、自衛官の使命感や専門性に対する理解を一層深めた。

続いて、C-147J輸送ヘリコプターの見学では、機体の構造及び運用の説明に加え、実際に勤務する隊員の姿を目の当たりにした参加者からは「精密な整備体制や高度な職務意識に感銘を受けた」との声が聞こえた。

埼玉地本は「今後も、このような企画を通じ、企業等と良好な関係を築きながら、自衛隊への理解の深化を図るため引き続き援護活動に邁進していく」としている。

